



2月27日(木)、にぎわい交流館A U(秋田市)において組合員約300名が参加し、連合秋田2025春季生活闘争ファイティングフォーラムを開催した。集会では「情勢報告」、「構成組織代表からの決意表明」の後、二つの「集会アピール」が採択され、最後に団結ガンバローで春季生活闘争の勝利を誓った。また、同日県内6ヶ所でも集会が開催され、全県で約600名が参加した。

○主催者あいさつ 連合秋田 会長 小川 純

いよいよ、2025春季生活闘争がはじまった。物価を上回る賃上げを実現し、実質賃金の低下に歯止めをかける。これが2025春季生活闘争の第一の課題である。さらに大きな課題は、賃上げの流れを定着させ、そのすそ野を中小企業、地方、そして労働組合のない職場にまで広げることには他ならない。

いま、全国で労働組合への期待が高まっている。すべての働く仲間が、その働きの価値に見合った賃金を獲得するため、「みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会」のスローガンのもと、労働組合として、「はたらくのそばで、ともに歩む。」この決意を胸に、全構成組織が一丸となって、ともに頑張ろう！

!!! みんなでつくろう! 賃上げがあたりまえの社会



○ 2025春季生活闘争情勢報告と決意表明！

連合秋田の曾我事務局長からの「2025春季生活闘争情勢報告」後、自動車総連・館岡議長、私鉄総連・石井副委員長より今次闘争に臨んでの状況報告と力強い決意表明をいただいた。



連合秋田
曾我章生 事務局長



自動車総連秋田地方協議会
館岡 丸 議長



私鉄総連 秋田中央交通労組
石井 隼人 副委員長

○ 集会アピール採択と団結ガンバロー！

「3. 8国際女性デー・アピール」とステージを変える春闘とする決意を込めた「集会アピール」を満場の拍手で採択した。最後に、中央地域協議会の田口議長の団結ガンバローで集会を閉会した。



連合秋田女性委員会
山口厚子 事務局長



中央地域協議会
佐々木数也 副事務局長



中央地域協議会
田口 司 議長（中央）

地場中小組合の第1のヤマ場を設定！

3月17日～3月31日

3月内妥結に向けて、共闘体制の強化を！

